

AP 言語イマージョン・プログラム
「海外集中言語研修」
2022 年度冬期 募集要項

募集期間	募集プログラム	派遣期間
10/12(水) ～ 10/26(水)	韓国語	2023/2/15(水)～3/20(月)
	マレー語・インドネシア語	2023/2/15(水)～3/20(月)
	スペイン語	2023/2/15(水)～3/20(月)
	タイ語	2023/2/20(月)～3/25(土)

立命館アジア太平洋大学
アカデミック・オフィス
第 3 版
(2022 年 10 月 21 日)

【改訂箇所】

第 2 版: 巻末の「[共通事項](#)」と「[誓約書](#)」の添付

第 3 版: 以下の日程変更

[3. 受講確定後の手続き](#)

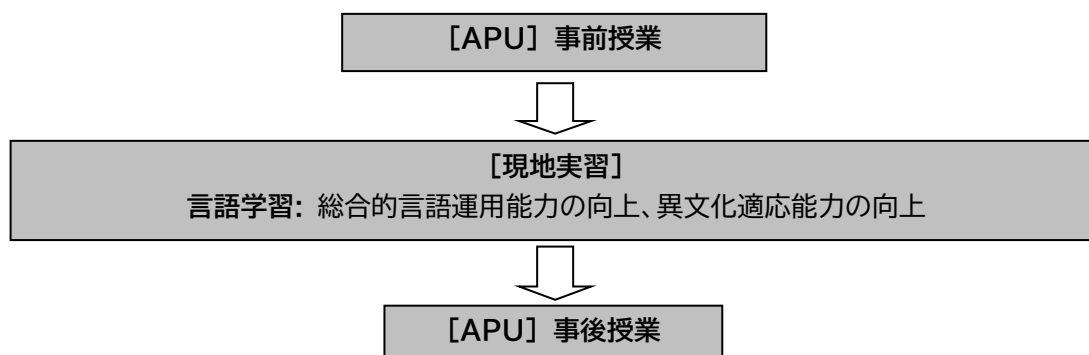
[6. ②奨学金](#)

[7. スケジュール](#)

1. AP 言語イマージョン・プログラムとは

科目概要と授業の特色

言語イマージョン・プログラムは、「海外集中言語研修(言語教育科目)」として実施される APU の正課科目です。この科目は、APU で行われる事前授業、海外実習、日本へ帰国してから実施される事後授業によって構成されています。科目を通して言語能力の向上を目指します。更に科目の一環として行う海外実習では、現地の人々との交流や現地ならではの活動を通して異文化への理解を深めることも目的としています。



教育目標

- (1) APU で提供されている言語教育科目(AP 言語科目)を補充し、当該言語の使用されている現地の教員・学生を相手に言語訓練を施すことにより、学生の言語運用力を強化します。
- (2) 当該言語の使用されている地域の言語や文化、社会に対する知的好奇心をさらに高め、今後の言語学習への動機を高め、同時に言語学習と学部専攻分野での学習・研究との接点を深く考える機会とします。
- (3) 当該地域の教員・学生との交流を通じて、異文化を理解尊重し、相互理解に努める精神を養います。

科目名称、成績

科目名： 「海外集中言語研修」(言語教育科目)
単位数： 4 単位 (「8. 募集プログラム」を参照のこと)
成績評価： 通常評価 (A+、A、B、C/F)

履修登録および単位授与時期

参加が決定した後、大学にて履修登録を行います。各セメスターにおける履修登録上限単位数の上限には含まれません。イマージョン科目実施セメスター期(2022 年度秋セメスター)の単位授与となります。

2. 募集概要

募集プログラム

2022 年度冬期は以下 4 つのプログラムで参加者を募集します。派遣先大学の情報やプログラム概要については、下記、比較一覧表の他、「8. 募集プログラム」で確認してください。費用は変更の可能性があります。

言語	韓国語	マレー語・インドネシア語	スペイン語	タイ語
事前授業	2022 年 12 月下旬～2023 年 1 月(シラバスを参照してください。)			
派遣時期	2023/2/15～ 3/20	2023/2/15～3/20	2023/2/15～3/20	2023/2/20～ 3/25
事後授業	2023 年 3 月下旬(シラバスを参照してください。)			
協定先大学	高麗大学校	リア外国語大学	メキシコ国立自治大学	チェンマイ大学
費用目安	約 332,340 円	約 473,370 円	約 689,850 円	約 437,710 円

申請期間

2022年10月12日(水)～10月26日(水)14:00

申請要件

本募集要項の「8. 募集プログラム」に記載されている各プログラムの申請条件に加え、以下の要件を満たしていることが必要です。

- ・ 1～7 セメスター生であること
- ・ 早期卒業プログラムの学生の場合は、最終セメスターでの申請はできません。
- ・ プログラムの趣旨・目的を理解し、新しい環境に適応しようと努力し、海外での学習に対して意欲を持ち、真摯に学習に励む学生であること。

申請方法

申請期間中に、下記 URL または右の QR コードより申請してください。

<https://forms.office.com/r/F5WZCVmBgB>



- 申請期間中にのみ申請フォームを公開します。
- 複数回提出した場合、提出日が新しいものを受け付けます。
- Web 申請には、以下が必要になります。予めご準備ください。
 - 1) パスポート(顔写真のページ)のアップロード
(未取得の場合はその旨、申請ページ上で申告してください。)
 - 2) 志望理由の入力

<注意>

- パスポート未取得の場合は、2022 年 11 月末までに取得できるよう、申請方法を調べて取得してください。
- 各国の定めるパスポートの有効期限を確認し、現在所持しているパスポートの有効期限が必要な期限を満たしていない場合、速やかに更新手続きを行ってください。
- パスポート画像は、以下ファイル名で保存したものをアップロードしてください。
[パスポート] Passport_氏名_学籍番号
(例: Passport_RitsumeiTaro_11223344. jpg)

申請期限

2022年10月26日(水)14:00

申請に関する注意事項

- ・ プログラムへの参加が決定した場合、「[誓約書](#)」をオンライン提出していただきます。申請の時点で、必ず保証人の同意を得た上で申請してください。誓約書には、申請者本人、及び保証人両者の直筆署名が必要です。なお、保証人とは、父母または身元引受人のことを指します。

複数のプログラムへの申請について

- ・ 申請条件を満たす場合、複数プログラムへの申請が可能です。その場合、申請する全てのプログラム分のオンライン申請をしてください。なお、オンライン申請の際、入力開始画面に「複数のプログラムに申請しますか」という問いが表示されますので、必ず「はい」を選択し、必要事項を入力してください。
- ・ オンライン申請において「実習日程および事前・事後授業の日時が重複しないプログラムに複数合格した場合、全てのプログラムへの参加を希望しますか？」に対して「はい」と選択していた場合も、申請したプログラム同士の実習・授業等の期間が重複している場合は、申請時に選択した優先順位に基づいて、選考を行います。

選考方法

Web 申請時に提出したエッセイ、及び学修状況、面接審査等による総合的な選考を行います。

※申請者数に応じて、エッセイによる一次審査、面接による二次審査に分けて選考する場合があります。

面接選考日

2022年11月2日(水)2～5限

- ・ 上記の日程で面接を実施します。詳細は申請締切り後にキャンパスターミナルの「あなた宛の重要なお知らせ」にて連絡します。
- ・ 授業以外の予定はできる限り調整して予定を空けるようにしてください。
- ・ 状況次第では11月1日(火)、11月3日(木祝)、11月4日(金)も予備日として設定予定ですが、原則として選考日は11月2日(水)です。
- ・ 面接を無断で欠席した場合は、申請の意思がないものとみなし申請を取り消します。

選考結果発表

キャンパスターミナルの「あなた宛の重要なお知らせ」にて通知します。

2022年11月11日(金)午前中

3. 受講確定後の手続き

受講者ガイダンス

2022年11月16日(水)5限

受講決定後、受講者ガイダンスに必ず出席してください。教室等詳細は後日案内します。

各種提出物や費用支払いについて

提出方法や提出先など詳細は受講者ガイダンスでお伝えします。

- ① 健康状況および学習面における支援自己申告書と被保険者告知書の提出
オンラインで提出していただきます。詳細は後日案内します。

①の提出期限

2022年11月23日(水)

② 誓約書提出

「誓約書」をオンライン提出していただきます。誓約書には、申請者本人、及び保証人両者の直筆署名が必要です。署名をする保証人は、申請時に提出した内容と同一の保証人である必要があります。

③ 保険加入料の振込

個人で既に参加している場合も、APU 及び派遣先大学が指定する海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、受講者ガイダンスで説明します。

②③の期限

2022年11月30日(水)

④ プログラム費の支払い

プログラム参加には規定のプログラム費を支払う必要があります。海外渡航需要の高まりや円安の影響等で、「8. 募集プログラム」に記載されている目安額を上回る可能性があります。予めご了承ください。奨学金が支給される場合も、一旦、支払い期限までにプログラム費の全額を支払う必要があります。

④の支払い期限

2022年12月17日(金)14:00

⑤ 航空券代の支払い

- ・ 大学がプログラム実習日程に合わせて航空券の予約をします。
(現地集合・現地解散および航空券の変更はできません)

⑥ 査証(ビザ)取得

- ・ 派遣国・地域、または、国籍によって、渡航前にビザの取得が必要な場合があります。
- ・ 申請は代理申請が認められていない国以外は、プログラム毎に大学が一括して取りまとめます。
- ・ 派遣国や本人の国籍によって申請方法が異なるほか、取得が困難な場合があります。万一、取得できない場合は、受講不可となりますが、その場合もキャンセル費が発生することがあります。

【国際学生のみ】

プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の期限についても各自確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、スチューデント・オフィスで確認してください。

⑤⑥の提出期限

2022 年 12 月下旬予定 (詳細は後日 manaba を通じてお知らせします。)

⑦ 海外渡航用の新型コロナワクチン接種証明書提出

プログラムへの参加が決定した場合、以下のどちらかを満たした上で、海外渡航用の新型コロナワクチン接種証明書(ワクチンパスポート)の取得・提出が必要です。

- A) 新型コロナウイルスのワクチンを 3 回接種している
- B) 新型コロナウイルスのワクチンの 2 回目接種日から派遣最終日が半年以内である

⑦の提出期限

2023年1月11日(水)14:00

⑧ 予防接種

受講者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類を案内します。予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうかは各自で判断してください。接種を希望する場合は、ヘルスクリニックで手続きを行ってください。

⑨ 出発 72 時間前 PCR 検査・抗原検査の受検と結果報告

- ・ 飛行機出発の搭乗時刻から 72 時間以内に PCR 検査もしくは抗原検査を受検し、アカデミック・オフィスへ検査結果を報告する必要があります。陰性の場合のみプログラムに参加することが出来ます。

4. 免責事項・注意事項

1) 海外実習時における注意事項

- ・ 本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)以外の第三者(組織、個人)による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟、それに関わる対応等の責任を負わなければなりません。プログラム当事者(APU、派遣先大学、現地機関)はその責任は負いません。

2) プログラムの中止や内容の変更

- ・ 参加者の健康や安全を第一に優先するため、実習先で天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生した場合やその他受け入れ先大学の事情等によりプログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。プログラムの中止や内容が変更になる可能性も念頭においた上で、無理のない履修計画を行ってください。
- ・ 受講態度や出席状況、書類や課題などの提出状況などを勘案し受講不適格と判断された場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加許可が取り消されることがあります。

プログラム中止判断基準

- ・ 現地派遣可否の判断は 2022 年 11 月下旬に行います。
- ・ 現地派遣中止判断日もしくはそれ以降の現地実習開始までに、調査実習地が外務省危険情報レベル 2 以上になった場合、現地派遣・実習を中止します。(派遣国毎に判断)
現地実習中にレベル 2 以上に引き上げられた場合、教学部と担当教員が協議した上で帰国判断を行います。

3) 合否発表後(最終選考結果発表後)の辞退について

- ・ 本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。プログラム参加者決定後に人数の変更があった場合、プログラム自体の実施が不可能になることや、他の参加者へ追加料金が課される場合があります。従って、最終合格発表後の辞退は認められません。
- ・ 申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。
- ・ 最終合否発表後に辞退せざるを得ない状況が生じた場合は、辞退する学生本人がキャンセル費用を支払う必要があります。

4) キャンセル料について

- ・ 参加者のやむを得ない理由により、プログラム開始後に参加を辞退する場合、学生はその時点までに発生した費用をキャンセル料として負担しなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。
- ・ 既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、派遣先大学から APU への払い戻し等が必要な場合等、一定時間を要します。予めご了承ください。

5) 履修登録における注意事項

- ・ 本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか十分に確認してください。プログラム合格後に問題が判明した場合も、履修の特別配慮等はありませんので自己責任においてプログラムの応募を行ってください。

6) 新型コロナウイルスに係る注意事項

ワクチン接種・PCR 検査について

- ・ プログラム参加者は、海外渡航者用接種証明書(ワクチンパスポート)の取得・提出が必要です。
- ・ 飛行機出発の搭乗時刻から 72 時間以内に PCR 検査もしくは抗原検査を受検し、結果が陰性の場合のみプログラムに参加することが出来ます。
- ・ 派遣国によって陰性証明書の提出、検査種類または実施日時の指定がある場合には、その指示に従ってください。

新型コロナウイルスに因る派遣中止について

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、派遣中止判断を行う可能性があります。
- ・ 派遣中止や中断、内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、キャンセル費用等を負担する必要があります。
- ・ 派遣中止になった場合、プログラム開始後でも成績ならびに単位は付与されません。

5. 遵守事項(誓約書内容を転記)

①基本姿勢

立命館アジア太平洋大学Off-campus Study Program(以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない。

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学(以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関(以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

②健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任で行うこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム(J-TAS)等へ加入すること。(海外プログラムのみ)
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「Off-campus Study Program参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。
- (7) 本学もしくは派遣先の教職員によって医療行為が必要と判断された状況下で、自らの意思で受診をしなかった場合、如何なる問題が起こったとしても本学、派遣先はその責任を負わない。

③経費および補償

- (1) プログラムに要する費用(実習費・宿泊費・交通費・保険料等)は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへの参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費(派遣先から本学に請求された必要経費を含む)を負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、3.(2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。本学、派遣先はその責任を負わない。

④入国・帰国

- (1) プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。
- (3) (1)および(2)の規定にかかわらず、本学が必要と認めたプログラムにおいては、本学が事前のガイダンスで指定する方法により、日本出国日および日本帰国日を事前に大学に申告するとともに、自己責任で現地集合し、帰着するものとする。

⑤誓約書の提出

上記事項を理解し、本人および保証人による誓約書を提出すること。

6. その他

①個人情報の取扱いについて

派遣に関わる調整・手続きを進める上で、第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、保険会社、大使館、領事館、外務省等)に対して個人情報を提供することがあります。提供する情報には、氏名、性別、国籍、Eメールアドレス、生年月日、パスポート番号、大学での学修状況があります。

②奨学金

- ・ 奨学金の受給枠には限りがあります。成績、経済状況などその他総合的判断をして審査を行います。
- ・ この奨学金に申請できるのは、日本国籍を有する学生又は日本への永住が許可されている学生です。
- ・ 国際生は、必要に応じて自国や渡航先国の政府や団体が提供している奨学金をご自身で探してくだ

さい。

- ・ 奨学金の詳細は以下を参照してください。
Campus Terminal 大学からの情報 2022/10/04 (火) 13:42 配信分
タイトル:(J only) 2022 年度第 5 期募集 JASSO 海外留学奨学金の申請者募集

アカデミック・オフィス奨学金ページ「留学のための奨学金制度」
<https://www.apu.ac.jp/abroad/support/scholarship/>

③履修免除試験(希望者のみ)

- ・ 希望者は派遣中に受講しているプログラム言語の履修免除試験を受けることができます。この履修免除試験に合格することで、受験した AP 言語科目の履修免除を受けることができます。
- ・ AP 言語科目において履修免除を受けた場合でも、日本語基準学生は「英語初級 A・B」、英語基準学生は「日本語初級 I・II・III」を単位修得もしくは履修免除とならなければ、次のレベルの AP 言語科目を履修できません。

④姿勢

- ・ プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、受講者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの受講目的をしっかりと定めてください。
- ・ 参加中は、大学で定めたルールを守らなければなりません(例/禁酒、自動車やバイク運転の禁止、レジャースポーツの禁止等)。詳しくは、受講決定後のガイダンスで説明を行います。
- ・ 派遣前後に行う事前・事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。

⑤宿泊

- ・ 大学が指定する施設以外での宿泊は認めません。
- ・ 寮や宿泊先では滞在先のそれぞれの規則や生活習慣に従ってください。
- ・ 施設の状況やプログラムによって、1 部屋を個人で利用する場合や 2 名以上で共有する場合など宿泊条件が異なります。

⑥実習中の危機管理・健康確認

- ・ 実習中は常時のマスク着用を義務とし、感染予防対策を行ってください。
- ・ 毎日朝・夜に体温チェックを行い、風邪等の症状がある、または 37.5℃以上の熱がある場合、派遣先大学の担当教員とオフィス、および、APUのアカデミック・オフィス(immerse@apu.ac.jp)に報告してください。

7. スケジュール

日程	内容
2022 年	
10/12(水)～10/26(水) 14:00	申請期間
10/12(水) ①14:20～ ②16:00～ 10/19(水) 18:00～	募集ガイダンス 10 月 12 日に実施したガイダンス動画は こちら
11/2(水) 2～5 限	面接（予備日は 11/1(火)、11/3(木祝)、11/4(金)）
11/11(金) 午前	合否発表
11/16 (水) 5 限～	Off-campus Study Program 受講者ガイダンス 言語イマージョン・プログラムガイダンス
11/23(水)	健康状況自己申告フォーム・被保険者告知書の提出
11/30(水)	誓約書の提出/保険料振込
12/17(金)	プログラム費支払い締切
12 月下旬	航空券代、ビザ申請代(必要な場合)支払い締切
12 月予定	ビザガイダンス(対象者のみ)
12 月～2023 年 1 月	事前授業（各プログラムのシラバスで確認）
2023 年	
1 月	出発前語学力測定テスト（各プログラムのシラバスで確認）
1 月 11 日(水)	海外渡航者用接種証明書(ワクチンパスポート)の提出締切
1 月18日(水)5～6 限	危機管理授業 言語イマージョン・プログラム出発前ガイダンス
2 月～3 月	各プログラム現地実習、AP 言語履修免除試験(希望者のみ)
3 月下旬	事後授業、帰国後語学力測定テスト
6 月履修登録修正期間 2	大学による履修登録・単位授与

※上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは参加決定後に案内します。

※事前・事後授業に参加できない場合は、各担当の先生に事前にメールにて相談してください。

8. 募集プログラム

■韓国語

高麗大学校(ソウル、韓国)

■マレー語・インドネシア語

LIA 外国語大学(ジャカルタ、インドネシア)

■スペイン語

メキシコ国立自治大学 (メキシコシティ、メキシコ)

■タイ語

チェンマイ大学 (チェンマイ、タイ)

韓国語 高麗大学校(ソウル、韓国)

プログラム内容

- ・ 語学授業、アクティビティ、文化体験を通し、「韓国語」、「韓国人」、「韓国の社会と文化」を理解することを目標とします。
- ・ 語学授業: 高麗大学校・韓国語センターで会話、文法、聞き取りを中心とした授業を行います。高麗大学校の学生がアシスタントとして補助してくれるので、授業で学んだ韓国語を実際に話してみる機会もたくさんあります。
- ・ アクティビティ: 高麗大学校での交流会、高校生との交流会、特殊講義、見学等を行い、APU の学生は韓国語でプレゼンテーションを披露します。見て、聞くだけではなく、互いに発信し、理解しあう「学び合い」の実践を試みます。
- ・ 文化体験: 企業訪問、宮廷見学、工芸教室、フィールドワーク等、韓国の過去と現在に関する文化に触れることを目的とします(文化体験の内容は変更になる場合があります)。

クラス形態

レベルは「入門」、「初級1」、「初級2」、「中級1」の4つを想定しています(2018年度は「中級2」も開講)。「入門」では、ハングル文字の学習からはじめる初学者を対象とした授業を行います。「初級1」では、APUで韓国語 I を修了した学生を対象に初級韓国語の復習と中級韓国語の導入、実在的状況での意思疎通能力の向上を図るための練習をします。「初級2」では APU で韓国語 II 以上を修了した学生を対象に「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」能力の全ての領域におけるバランスのとれた上達を図ります。「中級1」では APU で韓国語 III 以上を修了した学生を対象により実践的な言語の使用を目指した授業を行います。ただし、高麗大学でのレベルテストによってクラス分けは変更されることがあります。なお、授業は全て韓国語で行われます。

派遣先の都市 韓国 ソウルについて

韓国西北部に位置する都市で、朝鮮時代から 600 年以上も韓国の首都として機能してきました。首都圏人口では 2000 万以上が暮らしていると言われるソウルは政治・経済・文化のすべてが集中している韓国最大の都市で、近年ではアジアのハブ都市としても注目を浴びています。高度に発達した公共交通システムと運賃の安さはソウルの自慢です。高麗大学はソウルの中心部にあるので、ソウル探訪には最適なロケーションと言えます。

申請条件

下記の①、②を満たす者。

- ① 韓国語の学習に意欲のある学生(全く韓国語を勉強したことがない学生、および APU で韓国語科目を履修中、または修了している学生を含む)
- ② 韓国語が母語でない学生

費用

プログラム費	航空券	海外旅行保険/J-TAS	合計(目安)
約 278,000 円	約 40,870 円	13,470 円	約 332,340 円

プログラム費に含まれるもの

実習費、教材費、フィールドトリップ、宿泊費、現地空港送迎

プログラム費に含まれないもの

往復航空券代、予防接種にかかる費用、海外旅行保険/J-TAS 費用、入国申請・ビザ申請・領事館面接に関わる費用、新型コロナウイルスに関する費用(検査費や個室手配費用等)、日本を出入国する空港までの往復交通費、出発前日および帰国日の宿泊費用(個人の判断による)、食費、現地での交通費、現地アクティビティ及び通学にかかる交通費約 5,000～6,000 円、その他娯楽費

担当教員	募集人数	単位数	食事	宿泊
JUNG, Jonghee	最少催行人数: 20 名 ※参加者が 20 名に満たない場合は中止します。	4 単位	食事はプログラム費に含まれていない 大学の食堂利用可能	大学周辺宿泊施設

プログラム期間

- ・事前授業: 第 1 回 2022/12/21 (水) 5, 6 限 対面
第 2 回 2023/ 1/11 (水) 5, 6 限 対面
第 3 回 2023/ 1/14 (土) 2, 3 限 オンライン
第 4 回 2023/ 1/25 (水) 5, 6 限 対面
- ・プログラム期間: 2023/2/15 (水) ～ 2023/3/20 (月) 5週間
- ・事後授業: 2023/3/27 (月) 2, 3 限 オンライン
※事前・事後授業に参加できない場合は、事前に担当教員へ連絡してください。

VISA 日本国籍の場合、不要。ただし、韓国政府の設ける入国基準によって日本国籍の場合でも VISA の発行が必要となることもあります。日本国籍以外の場合、要確認。

マレー語・インドネシア語 リア外国語大学（ジャカルタ、インドネシア）

プログラム内容

- ・ 現地での授業は、全てインドネシア語で行われます。
- ・ 言語の授業に加え、インドネシアの伝統的な文化を体験できるコースも設けられています。
- ・ ジャカルタ周辺地域へのフィールドトリップを予定しています。

クラス形態

- ・ レベルは入門レベルと初級レベルの2つに分けられます。入門クラスはインドネシア語を学んだことのない学生向けのクラスです。初級クラスはマレー語・インドネシア語 I を履修済み、またはインドネシア語を学んだことのある学生向けのクラスです。各クラスの最少催行人数は4名です。
- ・ 1時限は90分で、1日に3時限の授業があります。4時限目に文化体験のクラスが設けられる日もあります。

派遣先の都市 インドネシア ジャカルタについて

インドネシアの首都で、国内最大の都市です。ジャワ島の北西岸に位置し、4世紀に建国されました。1945年の独立宣言以来、オランダ領東インド統治時代事実上の首都であったジャカルタ(当時のバタヴィア)が首都に制定されました。インドネシアの経済・文化・政治の中心地です。人口は1千万人を超えます。タマン・ミニ(インドネシアの巨大テーマパーク)、独立記念塔(モナス塔)、イスティクラル・モスク、ジャカルタ大聖堂、やショッピングセンターなど多くの観光地があります。

申請条件

下記の①、②を満たす者。

- ① マレー語・インドネシア語の学習に意欲のある学生。インドネシア語を学んだことのない初学者も歓迎します。
- ② マレー語・インドネシア語が母語でない学生

費用

プログラム費	航空券	海外旅行保険/J-TAS	合計
約 290,000 円	約 169,900 円	13,470 円	約 473,370 円

プログラム費に含まれるもの

実習費、教材費、フィールドトリップ、宿泊費、現地空港送迎

プログラム費に含まれないもの

往復航空券代、海外旅行保険/J-TAS 費用、予防接種にかかる費用、新型コロナウイルスに関する費用(検査費や個室手配費用等)、入国申請・ビザ申請・領事館面接に関わる費用、日本を出国する空港までの往復交通費、出発前日および帰国日の宿泊費用(個人の判断による)、食費、現地での交通費、その他上記に含まれない諸費用。

担当教員	募集人数	単位数	食事	宿泊
SRI, Budi Lestari	最少実施人数 各レベル 4 名ずつ(合計 8 名)※参加者が 8 名に満たない場合はプログラムを中止することがあります。	4 単位	食事はプログラム費に含まれていない	大学周辺宿泊施設

プログラム期間

- ・事前授業: 第1回 2022/12/21(水) 5, 6 限
第2回 2023/ 1/11(水) 5, 6 限
 - ・プログラム期間: 2023/2/15(水) ~ 2023/3/20(月) 5週間
 - ・事後授業: 2023/3/25(土) 2, 3 限
- ※事前・事後授業に参加できない場合は、事前に担当教員へ連絡してください。

VISA

日本国籍/日本国籍以外ともに必要

スペイン語 メキシコ国立自治大学(メキシコシティ、メキシコ)

プログラム内容

効果的な言語能力を養う為に文法や発音、正書法を強化しながら実践的に、そしてコミュニケーションアプローチを用いてスペイン語を学びます。現地では特にスピーキングと対人能力に特化しながら、4 技能(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)を伸ばすプログラムです。さらに、ヒスパニック文化を理解するためにメキシコの文化についても学びます。

クラス形態

メキシコ国立自治大学(UNAM)メキシコシティでは1週間に 12~20 時間のスペイン語の授業があり、毎週 6 時間のメキシコの文化に関する授業が別の2つのキャンパスで実施されます。文化に関する授業、アクティビティ、そしてガイド付きの遺跡や博物館訪問も用意されています。文化に関する授業では基礎の歴史、美術、文学、メキシコの風習や料理そして日常生活について学びます。スペイン語の授業では文法、発音、リスニング&リーディングを中心に学ぶことが出来ます。スペイン語のコースレベルは参加者のレベルによって異なります:入門、初級-中級、中級-上級。(CFER: A1.1, A1-A2, B1)

取得できる資格

プログラム修了時には CEFR (Common European Framework of Reference for Languages)によって定められたレベルの S1 SIELE を取得することが出来ます。SIELE(英語では International Evaluation Service of the Spanish Language)は学生や社会人向けの国際的に認識されているスペイン語の運用能力を証明するスペイン語試験です。インスティトゥト・セルバンテス、メキシコ国立自治州大学、サラマンカ大学、ブエノスアイレス大学という世界的な4つの文化・学術機関が振興する試験です。

申請条件

下記の①、②を満たす者。

- ① スペイン語の学習に意欲のある学生。スペイン語を学んだことのない初学者も歓迎します。
- ② スペイン語が母語でない学生

費用

プログラム費	航空券	海外旅行保険/J-TAS	合計(目安)
約 360,000 円	約 316,380 円	13,470 円	約 689,850 円

プログラム費に含まれるもの

実習費、教材費、フィールドトリップ、宿泊費、現地空港送迎

プログラム費に含まれないもの

往復航空券代、海外旅行保険/J-TAS 費用、予防接種にかかる費用、新型コロナウイルスに関する費用(検査費や個室手配費用等)、入国申請・ビザ申請・領事館面接に関わる費用、日本を出国する空港までの往復交通費、出発前日および帰国日の宿泊費用(個人の判断による)、食費、現地での交通費、その他上記に含まれない諸費用。

担当教員	募集人数	単位数	食事	宿泊
BARRASO ROMERO, Víctor M.	最少催行人数: 5 名 ※参加者が 5 名に満たない場合は中止します。	4 単位	食事はプログラム費に含まれていない	大学周辺宿泊施設

プログラム期間

- ・事前授業: 第1回 2022/12/21(水) 5, 6 限 対面
第2回 2023/ 1/14(土) 2 限 オンライン
第3回 2023/ 1/25(水) 5, 6 限 対面
 - ・プログラム期間: 2023/2/15(水) ~ 2023/3/20(月) 5週間
 - ・事後授業: 2023/3/27(月) 2, 3 限 オンライン
- ※事前・事後授業に参加できない場合は、事前に担当教員へ連絡してください。

VISA

日本国籍の場合、不要。日本国籍以外の場合、要確認

タイ語 チェンマイ大学(チェンマイ、タイ)

プログラム内容

このプログラムを通し、基礎的な日常の言語能力を実際に使いながら養います。タイ語を初めて学ぶ学生は基礎的なタイ語を学ぶことが出来、すでにタイ語 I 以上を履修している学生も言語能力を上達させることができます。プログラム中の講義・セッションは午前と午後に分かれています。講義は実用的な口語、筆記のタイ語力を高める内容となっています。また、実習を強化するためのフィールドトリップ、タイ文化やタイ北部の古代ランナー文化を理解するための文化講座が用意されています。国際学生への教育に経験豊富な講師のもとで学習し、実際に間近で練習できる環境で言語能力を上げていきます。タイ語の個別指導を受けることが出来、伸ばしたい技能をタイ語の講師と選ぶことが出来ます。プログラム中はタイの学生がバディ(タイ人)として、一緒に練習をしてくれて様々なタイ文化を紹介してくれます。

クラス形態

- ・ グループレッスン

派遣先の都市 タイ チェンマイについて

チェンマイはタイ北部の山岳地帯に位置する都市です。1296 年にランナー王朝の初代王によって建設され、1558 年までランナー王朝の首都でした。ランナー王朝の歴史、文化、宗教の中心として、旧市外には当時の壁や堀の遺跡が残っています。また、14 世紀から、数百もの精巧に建てられた仏教徒のお寺が存在しています。チェンマイはタイ北部の首都として文化、貿易、経済的に成長し続けていて、バンコクに次いで二番目に重要な都市となっています。

申請条件

下記の①、②を満たす者

- ① タイ語の学習に意欲のある学生(全くタイ語を勉強したことがない学生、および APU でタイ語科目を履修中、または修了している学生を含む)
- ② タイ語が母語でない学生

費用

プログラム費	航空券	海外旅行保険/J-TAS	合計(目安)
280,000 円	約 144,240 円	13,470 円	約 437,710 円

プログラム費に含まれるもの

実習費、教材費、フィールドトリップ、宿泊費、現地空港送迎

プログラム費に含まれないもの

往復航空券代、海外旅行保険/J-TAS 費用、予防接種にかかる費用、新型コロナウイルスに関する費用(検査費や個室手配費用等)、入国申請・ビザ申請・領事館面接に関わる費用、日本を出国する空港までの往復交通費、出発前日および帰国日の宿泊費用(個人の判断による)、食費、現地での交通費、その他娯楽費

担当教員	募集人数	単位数	食事	宿泊
Phenssinee Limthananuntha	最少催行人数:10 名 ※参加者が 10 名に満たない場合は中止します。	4 単位	食事はプログラム費に含まれていない	大学周辺宿泊施設

プログラム期間

- ・事前授業: 第 1 回 2022/12/21 (水) 5, 6 限
第 2 回 2023/ 1/11 (水) 5, 6 限
 - ・プログラム期間: 2023/2/20 (月) ~ 2023/3/25(土) 5週間
 - ・事後授業: 2023/3/27 (月) 2, 3, 4 限
- ※事前・事後授業に参加できない場合は、事前に担当教員へ連絡してください。

VISA

日本国籍の場合、必要。日本国籍以外の場合、要確認

8. イマージョン・プログラムに関する問い合わせ先

アカデミック・オフィス B 棟 1 階
TEL: 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102
担当者: アカデミック・オフィス 杉山、二宮
E-mail: immerse@apu.ac.jp

プログラム共通事項

1. 査証(ビザ)

出発から帰国までに必要となるビザを確認の上、学生本人の責任で申請してください。必要となるビザは、学生の国籍や派遣国・地域、滞在期間などによって異なります。必要となるビザ(トランジットビザを含む)および必要書類等は各大使館のホームページ等で各自確認してください。なお、ビザ申請要件は予告無しに変更される場合がありますので、最新情報を入手するようにしてください。オンアライバルビザ(On-arrival Visa)での参加は、ビザ発給国の定めにより渡航前にビザを取得できない場合以外は原則認められません。

万一、所定の期日までにビザが取得できない場合は、派遣・留学は取り消しとなります。また、派遣・留学開始時期の変更等は行いません。

その際にかかるキャンセル料は、参加者の負担となります。負担するキャンセル料と成績については「免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。

【国際学生のみ】

プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の条件を確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、スケジュール・オフィスで確認してください。

注意) プログラムによってはビザの申請を代行会社に委託している場合があります。詳細はプログラム担当者に確認してください。

2. 保険

個人で既に加わっている場合も含め、APU 及び派遣先大学が指定する国内・海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)等への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、事前授業又は参加者ガイダンスで説明します。

3. 予防接種

事前授業又は参加者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類などを案内します。ヘルスクリニックが推奨する予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

ただし派遣先によっては予防接種が必須になる場合があるため、ガイダンス内の指示に従ってください。

4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し

① 次の条件に当てはまる場合は、教学部長が学生派遣の中止を判断します。

- 1) 派遣先国・地域についての外務省の危険情報がレベル 2 以上である場合。ただし、新たな感染症の蔓延等により、感染症危険情報が発令された場合は、状況に応じて判断する。
- 2) 社会情勢を鑑み、プログラムを安全に実施できないと考えられる場合
2-1) 中止判断にあたり留意されることは、実習先での天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・危機発生時の派遣先機関における派遣学生への支援内容・その他不可抗力に起因する事態が発生した場合等が想定されます。
- 3) 派遣先大学が、渡航を伴う APU からの学生受入中止を判断した場合

② 以下のいずれかに該当する場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあります。なお、交換留学、ダブルディグリープログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除くプログラムについては、参加を取り消された場合、成績は原

則として「F」評価となります。

- A) 参加態度・出席状況などを勘案し、受講不适当と判断された場合
- B) 選考結果発表後、懲戒処分の対象となった場合
- C) 指定の海外旅行傷害保険などに加入しない場合や、書類の提出を怠る、必要なガイダンスに参加しないなど大学の指示に従わない場合
- D) 負傷・病気等で留学が適当でないと大学が判断した場合
- E) 不正行為を行った場合
- F) その他学生としての本分に反した場合

- ③ 受講が取り消された時点で既に発生している費用については、学生本人が費用を支払う必要があります。

5. 選考結果発表後の辞退について

本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。従って、選考結果発表後の辞退は原則認められません。

申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。なお、期日内に大学が指定した費用の支払いがない場合は辞退したものとして扱います。キャンセル料については、次項「6. キャンセル料について」を参照してください。単位付与があるプログラムの場合、辞退した者の成績評価は原則として「F」評価となります。

6. キャンセル料について

選考結果発表後に辞退せざるを得ない状況が生じた場合、辞退する学生は、その時点までに発生した費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。

既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、一定時間を要します。

7. 履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。選考結果発表後に問題が判明した場合および「4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」に記載している事象が発生した場合も、特別な配慮等はしません。自己責任において、プログラムの応募を行ってください。

注意) 講義内容が同じプログラムに複数回参加することはできません。

申請を希望するプログラムが、すでに修得済みのプログラムの内容と同一かどうか不明な場合は、事前にアカデミック・オフィスにお問い合わせください。

8. 個人情報の取扱いについて

詳細は、合格者あてにお送りする誓約書を参照してください。

9. プログラム参加にあたって

- ① プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと定めてください。なお、派遣前後に行う事前/事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。
- ② プログラム参加中は「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」および「Off-campus Study Program へ参加する学生のための危機管理ガイドライン」を遵守してください。

遵守事項(交換留学、ダブルディグリー・プログラム、EXPLORE、APU グローバルリサーチプログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除く)

1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program (以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない。

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学 (以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関 (以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任で行うこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム (J-TAS) 等へ加入すること。(海外プログラムのみ)
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「Off-campus Study Program参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。
- (7) 本学もしくは派遣先の教職員によって医療行為が必要と判断された状況下で、自らの意思で受診をしなかった場合、如何なる問題が起こったとしても本学、派遣先はその責任を負わない。

3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用 (実習費・宿泊費・交通費・保険料等) は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへの参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費 (派遣先から本学に請求された必要経費を含む) を負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、3. (2) と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。本学、派遣先はその責任を負わない。

4. 入国・帰国 (海外で実施されるプログラムのみ)

- (1) プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。
- (3) (1) および (2) の規定にかかわらず、本学が必要と認めたプログラムにおいては、本学が事前のガイダンスで指定する方法により、日本出国日および日本帰国日を事前に大学に申告するとともに、自己責任で現地集合し、帰着するものとする。

5. 誓約書の提出

上記事項を理解し、本人および保証人による誓約書を提出すること。

誓 約 書

私は、下記プログラムに参加するにあたり、募集要項・シラバスおよび別紙の遵守事項を理解し、各事項を厳守し、誠実に履行することを、ここに誓約します。申請書やその他提出書類に記載した個人情報（氏名、性別、生年月日、その他本プログラムに係り大学へ提供した情報）は、プログラム参加手続および本学が管理・運営に関する業務の目的のために、本学内で使用されること、また、第三者（派遣先大学・機関、旅行代理店、査証取得代行会社、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、関係国（日本、参加学生の母国、派遣国）の在外公館及び政府機関）に提供されることに同意します。

本人記入欄

日付 _____

学生本人署名 _____ ※「描画」で署名（入力不可）

学籍番号 _____

参加プログラム 「海外集中言語研修」（言語イマージョン・プログラム）

（言語： 韓国語 マレー語インドネシア語 タイ語 スペイン語）

学部 (APM / APS)

回生 (1 / 2 / 3 / 4 / その他)

郵便番号 〒 _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

保証人記入欄

■私は、募集要項・シラバス及び別紙の遵守事項を本人に遵守させるとともに、これに反することによって生じた一切の事項について責任を持つこととします。また、プログラム参加において本人が負担する一切の債務については、プログラムに要する費用を限度額として保証いたします。

日付 _____

保証人署名 _____ ※「描画」で署名（入力不可）

郵便番号 〒 _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

電話番号 _____

本人との関係 _____

※保証人欄は、父母・身元引受者等が記載してください。

【以下のいずれかに該当する場合、保証は無効であるため、プログラム参加によって生じる一切の債務は、学生自身が負担することとなります】

- ・ 本人または保証人の署名がそれぞれの当人による直筆でない場合、または、両人の記入欄における筆跡が同一人物のものであると判断される場合
- ・ 友人や知人などが保証人になっているなど、その保証能力に欠けると本学が判断する場合
- ・ 記入欄に未記入箇所がある場合
- ・ その他、内容について虚偽の疑いがある場合